

人生「1/4年目」で考える
子宮頸がん情報メディア
「クォーター・ライフ」

QL

QUARTER LIFE

2025
Vol.12
全国で配布中



女性からだ推進大使

くれいじーまぐねっと

特別座談会

JKクリニック
WITH CRAZYMAGNET

LOVE49



Limited Collection

SAKURA & MIMOSA

ミモザのように美しく輝く女性へ贈る、やさしい春の息吹



Laline JAPANはLOVE49アクションを応援しています

QUARTER LIFE 2025 vol.12

【発行元】特定非営利活動法人 子宮頸がんを考える市民の会内 LOVE49プロジェクト実行委員会

〒170-0005 東京都豊島区南大塚3-36-7 南大塚T&Tビル6F TEL 03-6672-6926 (月～金 10:00-18:00)

理事長 今野良 / 編集責任 渡部享宏

制作協力・取材 Marie Tobuse / アートディレクション・デザイン Yasuna Okura

女性からだ推進大使

くれいじーまぐねっと 特別座談会

婦人科受診、はじめての一步！

くれまぐ世代の
自分ケア

人気動画クリエイター・ユニットの「くれいじーまぐねっと（愛称・くれまぐ）」。10代、20代を中心に人気を集める3人は、生理や婦人科受診に関する情報も発信しています。「子宮頸がんを考える市民の会」理事・小野里香織が、お話をうかがいました。



くれいじーまぐねっと UraN(中央左)、エア(左)、浅見めの3人からなるクリエイターユニット。2018年にYouTubeチャンネル(@CrazyMagnet)を開設し、現在はチャンネル登録者数208万人超。日常動画を中心に10代の人気を集めつつ、生理や婦人科受診、出産に関する動画も発信。20代や育児世代にも響くコンテンツを掲げている。2023年5月には、女性のヘルスケア啓発活動を行う「女性からだ情報局」と連携し「女性からだ推進大使」に就任。

女性からだ情報局 “知らないこと”に起因する性別ヘルスケアの健康被害や社会的損失を防ぐため、国内の婦人科医療情報を届ける情報エージェンシー。くれいじーまぐねっとと共に、「JKクリニック」という思春期女性の婦人科通院のサポートを通じて、思春期から自身の健康管理を行えるプロジェクトに取り組んでいる。

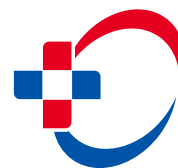
<https://josei-karada.net/jkclinic/>



病気にさせない、も医療。



名古屋駅直結の人間ドック・健診施設



一般財団法人 毎日ドクター

名古屋健診プラザ

2025年1月より「日本健康管理協会グループ」の健診施設として新たにスタート

〒450-6626 名古屋市中村区名駅1-1-3 JRゲートタワー26階

JR・地下鉄・名鉄・近鉄 各名古屋駅より徒歩5分（駅直結）

ご予約・お問い合わせ

052-581-0752【健診】 052-581-2526【代表】

婦人科受診、はじめの一步！



JKクリニック
WITH CRAZY MAGNET

子宮頸がんを考える市民の会 理事
小野里香織 おのさと・かおり
群馬大学医学部附属病院所属。臨床検査技師、日本臨床細胞学会認定細胞検査士として、「がん細胞」の検査・発見に日々活躍している。

浅見めい 2000年生まれ、千葉県出身。美容ヲタクでメイクやコスメについて発信するハッシュタグ「#浅見メイク」が人気。自身でもコスメブランドのプロデューサーを務め、幅広く活躍。

UraN 1997年生まれ、福島県出身。現在は一児の母でもあり、自身の低身長ぼっちゃり向けアパレルブランドのプロデューサーも務める。TVやCM他、多数メディアに出演。

エア 1997年生まれ、宮城県出身。天真爛漫なキャラとおもしろ発言で動画を盛り上げる反面、ジムで鍛えた美ボディや体づくりに関して発信し、男女問わず熱烈なファンを抱える。

共感から「行動」へ
変化したコメント

くれまぐー同 くれまぐです！
よろしくお祈りします！

小野里(以下・小) はじめまして！
くれまぐさんは「女性からだ推進大使」(▼P3)という活動を続けているそうですね。

UraN(以下・U) ももとは自分たちのYouTubeチャンネルで、2020年くらいから生理について自由に話していたんです。自分たちは生理中こんな感じだよって。当時は観てくれていたみんなとの「共感メイン」という感じでした。
エア(以下・エ) 生理前の暴飲暴食を見せたり、感情の波や、どんな生理用品を使ってるかについて具体的に話したり。

浅見めい(以下・浅) 当時のコメント欄は「言えなかったけど、本当は生理前のメンタルで悩んでる」とか、「私も同じです」みたいな声が多かったんです。

U 今は婦人科受診の話も発信しているの、「病院に行く勇気が出た」とか、「一歩を踏み出したよ」という報告が多くなりました。動画を観て「私の生理は重い方なんだ」と気付いて、実際に治療することになったというコメントをもらったり。

小 共感から「行動したよ」報告に変わってきたんですね。すばらしいです。3人に勇気をもらえたのでしょね。

U 女性の健康に関する知識って、若い時は届きにくい面もあると思うんです。たとえば学校で教えられても、恥ずかしさからうまく理解できていなかったり、他人事みたいに感じたり。それをどうにか自分達の言葉や、実際の体験動画で伝えることで、みんなの不安や疑問も解消できたんじゃないかと。

小 「婦人科」では何をやるのかよく分からないと、特に不安ですね。

U 私やエアは、婦人科に行こうという発想自体がそもそまなかつたタイプなんです。

たタイプなんです。

エ でもたまたま、めいが「婦人科行ったら」と教えてくれて。そこから「じゃあうちらも行っとくかー」という流れでした。

浅 そして3人全員が婦人科の良さに気づいたんです。きつかけは確か不正出血で、生理がちよっと不順かも、と思って。「一回行ってみよう」くらいの感覚でした。

エ 当時のめいから聞いたのは、「受診ついでに『子宮頸がん検診(▼P7)もやりますか?』って言われたよ。だから検査してきた〜みたいな軽い報告でした。『ブラシでちよっと探るだけで、痛いとかもなかった』って。

健康だからこそ
定期検診が大事

U 今までは不調があっても、「そのうち治るし」と軽く考えてたんです。でも一回行ってみたら怖かったし、お医者さんに診てもらって楽になるなら、気になった段階で

すぐ行きたほうがいいなと。

浅 最近は何かわずか?」と思った時点でいきます。何もなかったら何もなかったで安心です。たとえばおりものの量がいともより多かつたら、すぐ受診します。

エ 私は重い生理痛と、カンジダがよくクリニクにかかります。じつは3人の中では、病院に行く習慣が一番なかったんです。でもめいとUraNが行くようになって変わりました。生理痛の相談の流れで、子宮頸がん検診も受けて今のところ異常なしでした。

小 よかったです！これからも、定期的に検診を受け続けてください。

U 「いま健康だからこそ、病院に行くのが大事なんだな」と最近よく思います。症状が出てから病院に行くと、重い状態で見つかる場合があると思うので……。定期検診にかかっていたら、まだちよっとした異変のタイミングで治すことができますよね。

自分たちの言葉で
発信したいこと

小 私たち細胞検査士や医師は、子宮頸がんの患者さんと日々向き合っているの、「もっと早めに受診してもらえていたら」と悔しい思いをすることも多いです。
U これまでは「自分が子宮頸がんになるかも」という危機感も正直なくて。でも今は詳しく知って、広く伝えたいと思っています。

小 今後はどんなことに興味がありますか。

U 「周りとどうか比べ過ぎないで」と引き続き伝えていきたいです。たとえば生理でいしたら、痛みや経験は個人差が強い。お母さんや友達の言葉より、あなたの症状や辛さは、あなただけのものだからと。

エ 低容量ピルに関心があります。私はPMS(月経前症候群)もあり、生理中も生理後不調期が長いので……。だけどピルって聞くと、「避妊薬」だけのイメージが強い

らしく。自分の体調を整えるための薬というか、そのあたりを発信していけたらなと。

浅 私はずっとピルが気になっていました。ピルに対していろんなイメージを持っている人がいると思うので、一度使ってみて、自分の言葉で発信できたらいいなと思っています。

小 くれまぐの皆さんが、自分の健康について自覚的で、知識もしっかり蓄えていて素晴らしいなと感じました。子宮頸がんについても、ぜひたくさん知ってもらえたらと思います。ありがとうございました！

一同 ありがとうございました！

子宮頸がんのこと...



もっと知りたい人は♡



次のページへGO!



子宮頸がん検診に行ってみよう！

20代
歳をすぎたら、定期検診を習慣に！

初期の子宮頸がんは、自覚症状がほぼありません。だからこそ定期検診を受けることが重要です。

子宮頸がん検診は、国が推奨するがん検診です。対象者は20歳からで、無料または少ない自己負担額で受診できます。2024年4月以降、がん検診指針の変更で各市区町村※1では従来の「細胞診検査」から、95%弱の診断精度がある「HPV検査単独法」への切り替えがいくつかの自治体で始まっています。

「HPV検査単独法」では、まずはHPVの有無から調べる「ウイルス検査」を行います。この検査に「陽性」だった場合は同じ検体で「細胞診」へと進み、がんや前がん病変（がんの前段階）を調べることになります。「陰性」と診断された30歳～60歳の方は、次の子宮頸がん検診は5年後でよいとされます※2。

※1 受診の場（自治体など）が異なる自治体から導入中。準備が出来ない場合は、従来の方法（細胞診）を市町村では細胞診単独法が行われている。※2 20代はHPV陽性率が高いものの、がんで進んでいる女性はいくつかから引き続きはじめて「細胞診検査」を実施している。

1

受診場所を探す

20歳になると住民票がある自治体市区町村から案内が届き、受診場所がわかります。就業者は、職場の健康診断のオプションで受けられることも。自治体による検診を受けなかった場合、自己負担額は変わります。個人的に婦人科を受診したり、人間ドックに申し込んだりすることもできます。

POINT 自治体検診や職場の健診の場合、無料～2000円程度で受診が可能



2

予約する

検診には予約が必要な施設がほとんどです。候補日をいくつか予定してから申し込むとスムーズにネットです簡単に予約できる施設も増えています。

POINT 生理になりそうな期間は、できるだけ避けて予約するとベスト



3

受診する

お住まいの自治体によって変わりますが、20代の方は問診・視診・細胞診、30歳以上の方は細胞診または「HPV検査単独法」の受診があります。問診では、月経周期や生理痛の有無などが問われます。「視診」では、膣内に専用の器具を入れ子宮頸部を確認します。「細胞診」では、ブラシなどで子宮頸部の細胞を採取します。検診を受ける医療機関により、子宮と卵巣の腫れなどを手指で確認する診察（内診）というもあります。HPV検査単独法も、ブラシなどで子宮頸部の細胞を採取し、その検体から感染の有無を調べます。いずれも力を抜いていればほとんど痛みはなく、数分で終わります。

POINT 当日は下を脱いで受診するため、着替えやすい服装がおすすめ



4

結果を知る

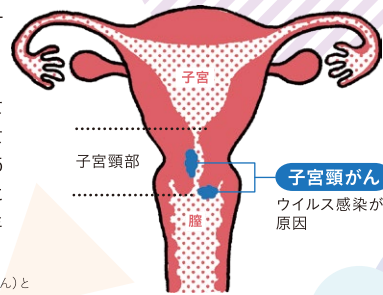
病院やクリニックで検査した場合は、10日くらい後に結果を聞きに行きます。健診施設で検査した場合は、約2週間～1カ月後に郵送で結果を受け取ります。「再検査が必要」という結果であれば、検査結果表を持って、保険診療ができる産婦人科ですみやかに受診（検診を受けた同じ施設で対応できる）こともあります。

POINT 結果を確認せずに放っておくのは、絶対に止めましょう！

定期検診でいのちを守ろう

イマ知ろう！ 子宮頸がん Q&A

「若い世代がかかる身近ながん」、それが「子宮頸がん」です。どんな病気か、まずは知ることも大切な予防になります。



Q どんな病気？

A 子宮の出口近く（＝子宮頸部）にできるがんのこと

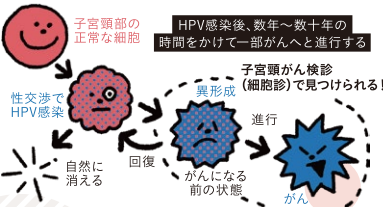
自分で症状に気づかないまま進行し、20～40代の若い女性もかかることが特徴です。日本では毎年、約1万人の女性が子宮頸がんと診断されています。これは1万人に125人の割合で、学校の1クラスが約35人だとすると、2クラスに1人くらいはいつかかかるといえます。子宮頸がんで毎年約3,000人の女性が亡くなっています。

※出典：厚生労働省「ヒトパピローマウイルス感染症～子宮頸がん（子宮けいがん）とHPVワクチン～/リーフレット詳細版（2025年2月改訂版）」

Q 原因は？

A HPV感染が原因で発症します

ヒトパピローマウイルス（Human Papilloma Virus＝以下、HPV）は、皮ふや粘膜の「イボ」の原因になるごくありふれた存在。「女性の多くは一生に一度は感染する」ともいわれるウイルスです。一度でも性交渉の経験があれば、「誰でも感染する可能性」があります。



Q 予防できる？

A はい。ワクチン接種や定期的な子宮頸がん検診が大切です

HPVに感染しても、多くの場合ウイルスが自然に消えます。しかし一部の人では持続感染し、がんへと進行してしまいます。でも原因となる主なウイルスの種類が判明しているため、感染を防ぐワクチン（▶P.12）があります。性交渉の機会がない年齢からワクチンを接種することで、がん化するリスクを下げるすることができます。だからワクチン接種と、定期的な子宮頸がん検診が重要です。子宮頸がん検診の検査方法の1つとして、20歳～29歳は2年に1度の「細胞診」（▶P.7）、30歳以降は、HPVに感染しているかどうかを調べる「HPV検査」が陰性の場合に限り5年に1度の受診が推奨されています（▶P.7）。





「WE HOPE ～子宮頸がんをなくそうプロジェクト～」Start!

日本ベクトン・ディッキンソン（以下・日本BD）は、医療分野の診断や治療に欠かせない医療機器を提供しているグローバル・メドテック企業です。社をあげて取り組んでいる子宮頸がん啓発活動について、三名にお話をうかがいました。

受診率の向上はまず社内から

日本BDは2009年からHPVの検査試薬や機器を販売しています。しかし製品をただ販売するのではなく、まず「子宮頸がんは予防と早期発見による治療・回復が可能な病気だ」と周知すること、そしてより多くの女性が、HPV検査へとアクセスしやすくなる環境を築くこと。この2点は、日本BDの企業としての使命だと考えています。

社で立ち上げた「WE HOPE ～子宮頸がんをなくそうプロジェクト～」では、全社員に向けて子宮頸がんに関する意識調査を行いました。調査の結果から、子宮頸がん検診受診に関する心理的なハードルとは、「抵抗感・費用・時間・情報不足」ということが

浮かび上がりました。そこで費用

については、プロジェクトチームで社長に直接交渉し、社がHPV検査費用を出すことを確約してもらいました。また知識面でも、東京本社・大阪・福岡の各拠点で、全社員へ向け子宮頸がんの知識と予防について情報を伝えることにしました。子宮頸がんサバ



BD ライフサイエンス
ダイアグノスティック ソリューションズ事業部
マーケティングコミュニケーションズ 押澤さん

意識と行動を変えたプロジェクト

私自身、子宮頸がんについてよく知らなかったことをプロジェクトを通じて実感しました。ラーニングセッションでは、なぜ予防が可能なのか、検査の種類や特徴、受診方法など、女性当事者視点に立った説明がとてわかりやすかったです。また子宮頸がんサバ

イバーの方の講演は、実体験を元に訴えかけてくれ、特に心に響きました。それでも正直、私はまだ検診へ足踏みしていたんです。しかし会社がHPV検査費用を負担してくれること、自己採取HPV検査の機会も提供してくれることを知り、女性社員の健康やキャリアを重要視してくれていることに改めて感動しました。



女性社員を対象とした勉強会後、
各々の思いを綴ったメッセージを添えての記念写真

週目にある国際女性デーや国際HPV啓発デーに合わせて「大切な人のために学ぶ 子宮頸がん情報サイト」※を開設しています。

検診の機会と選択肢を

子宮頸がんの患者数は30〜40代でピークを迎えます。仮に社員や社員のご家族が罹患された場合、社員自身のライフコースにも大きな影響を及ぼします。世界保健機関（WHO）は、2020年に「子宮頸がん撲滅イニシアチブ（CCEI）」を発表しました。CCEIでは、HPVワクチン接種率90％・検診率70％・治療へのアクセス90％、この3つの向上を目標に掲げており、日本だけでなくアジア各国で子宮頸がん啓発に関する気運が高まっています。そんな中、我が社の意識調査では、HPV検査に関連する自社製品と離れた部門になると、「子宮頸がんや検査についてよく知らない」、「費用に負担感がある」という方



代表取締役社長 長瀬信弥さん

が多くいることが分かりました。そこで子宮頸がん検診について理解を深めてもらうだけでなく、HPV検査費用を社が負担することにししました。以前より細胞診検査は会社負担でしたが、より高度であるHPV検査費用も担うことにしたのです。また検診未経験の社員や、受診歴はあるが何らかの理由でその後は受診していない社員向けの選択肢として、自己採取によるHPV検査にも費用を出すことにしました。今後は女性社員だけでなく、男性社員の家族にも費用負担の範囲を広めていく予定です。子宮頸がん検診受診率の向上に向け、まずはいち企業として取り組んでいきたいと考えています。



BD ライフサイエンス
バイオサイエンス事業部
東日本セールス 小林さん

いと思っています。そのためには、子宮頸がん検診の継続受診が大切だと思うようになりました。情報を正しく知る事で、人生にとって最適な行動がとれると思います。今後も自分が学んだ子宮頸がんに関する情報を、周囲の大切な人に伝えていきたいと思っています。



研究論文も多数

鈴木彩菜さん

すずき・あやな／埼玉県出身。群馬大学大学院保健学研究科博士前期課程修了後、2012年より「隈病院」（兵庫県神戸市）入職。2024年、博士学位（医学）を大阪大学より授与。同年に日本臨床細胞学会技師賞（学術部門）受賞。

※厚生労働省実施の2022年国民生活基礎調査から、国立研究開発法人国立がん研究センターが算出した推計値

Interview 2

ミクロの顕微鏡世界に魅入られて

中学3年生のとき、授業中に顕微鏡でゾウリムシを見て本当に感動したんです。顕微鏡を使う職種について調べ、「細胞検査士」という仕事を知りました。その後高校の入学祝いには顕微鏡を選びました（笑）。
今は甲状腺疾患の専門病院で働いており、病理・細胞診業務の傍ら、画像認識AIによる甲状腺細胞診支援システムの開発にも関わっています。これまでに約1万4000枚の画像をAIに学習させましたが、がん細胞の微妙な違いを見分ける能力はまだ十分とは言えません。研究開発を通じて、むしろ、人間の観察力の繊細さに改めて驚かされました。
子宮頸がん検診でも、診察室のその先で、全国の細胞検査士が異変のある細胞はないか目をこらしています。日本の20歳から69歳女性の子宮頸がん検診受診率は、まだ約4割[※]。あと6割のみなさんに、ぜひとも検診を受けてほしいと願っています。

まもるために

全国で活動する人々

病気を見つけるプロ「細胞検査士」からのメッセージ

細胞検査士、とは？

ひとこと言うと、「がん細胞のスペシャリスト」。

ヒトの体から採取した細胞を顕微鏡を通して目視し、「がん細胞」が含まれていないかどうかを検査する医療専門職です。がん診断の重要な役になるため、「がん細胞の番人」とも呼ばれます。

日本では、一生のうちにがんにかかる可能性は「2人に1人」[※]と推測されています。全国に約7500名いる細胞検査士は、がん発見の

ために医療現場に欠かせない存在です。

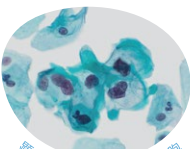
顕微鏡で細胞を確認する検査（＝細胞診）は、子宮頸がんだけでも年間約450万件もあります。がんを早期発見し、患者さんを1日でも早く病気から守るべく、力を発揮している仕事です。

※国立がん研究センターがん情報サービス「最新がん統計」より

どうすれば、細胞検査士になれますか？

「細胞検査士認定試験」に合格することで、細胞検査士になることができます。試験の受験資格を得るためには、次の3つの方法があります。

- ①細胞検査士養成コースのある大学で所定の単位を修得する
- ②大学、医療短大、専門学校を卒業し臨床検査技師または衛生検査技師国家資格（国家試験合格後）を得て「細胞検査士養成所」に進学し、所定の教育課程を履修する
- ③臨床検査技師（衛生検査技師）資格を得て、細胞診業務1年以上の実務経験をつむ



顕微鏡で見たHPV感染細胞



日本臨床細胞学会細胞検査士会 会長
あべ・ひとし
阿部仁 先生

細胞検査士認定試験合格者には、「国際細胞検査士」認定試験の受験資格が与えられます。国際細胞検査士資格は多くの国々で有効ですので、この制度を利用して外国で細胞検査士として活躍されている方もいます。

詳しくは… 細胞検査士会 Q で検索！



細胞検査士さんは、今日も全国で検査中！

Interview 1

細胞の先にいる患者さんを見つめたい

白衣姿に憧れ、がんの早期発見に貢献したい、という思いで臨床検査技師・細胞検査士の世界に飛び込みました。結婚・出産で3度の育休を取得、家族や同僚のサポートの元に仕事を続けています。
細胞検査士は「がん細胞の第一発見者」、ひとつの異型細胞[※]も見落とさない！という思いで日々顕微鏡を覗いています。ただし私たち細胞検査士が見ているのは「標本」ではなく、「その先にいる患者さん」。常に、誰かの為に。その気持ち忘れず業務に就いています。
駆け出しの頃、20代女性の子宮頸がんのがん細胞を見つけた衝撃はよく覚えています。その後も、妊娠初期の検査や30代女性で「初めて細胞診を受けた」という女性たちから見つかる異型細胞やがん細胞に何度も遭遇してきました。予防できるがんなのに……と悔しく思うことも多々あります。検診受診率が向上し、悲しい思いをする女性が一人でも減ることを願っています。

※正常な細胞に異常が生じ、形が変わっている細胞のこと



あなたの健康を守ります

斎藤彩香さん

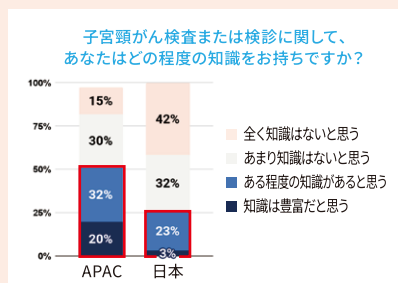
さいとう・さやか／静岡県出身。埼玉医科大学短期大学卒業後、同年「静岡済生会総合病院」（静岡県静岡市）に入職。国際細胞検査士（IAC）・認定病理検査技師の資格も併せ持つ。

女性の健康管理に関する APAC 8カ国・地域の意識調査



子宮頸がん検査の知識が「あまりない」「全くない」と回答した日本人女性は 7割以上、APACの8つの国と地域中で最も知識が不足している結果に

ロシュ・ダイアグノスティックスはこのほど、日本を含むアジア・パシフィック・リージョン（以下、APAC）の8つの国と地域で、25歳～50歳の女性 3,473名を対象に女性の健康や検査に関する意識調査を行いました。今回の調査によると、子宮頸がん検査または検診に関して「知識が豊富だと思う（3%）」「ある程度の知識があると思う（23%）」と回答した日本人女性の割合は全体の3割を下回り、APACの8つの国と地域の平均値と比較しても子宮頸がんの知識がある割合が少数でした。



これまでに子宮頸がんの検診を受けたことがないと回答されました。その理由をお答えください。

地域	理由	割合
APAC	1. 自分には何も問題がないと思った	30%
	2. 痛みを伴うことが不安	20%
	3. どのような結果になるかが心配	18%
日本	1. 恥ずかしい	29%
	2. 自分には何も問題がないと思った	25%
	3. 痛みを伴うことが不安	24%

子宮頸がん検査を受けない理由は「恥ずかしい」が上位に

これまでに子宮頸がんの検査を受けたことがないと回答した女性にその理由を尋ねたところ、APACの8つの国と地域全体では「自分には何も問題がないと思った」や「痛みを伴うことが不安」を理由に子宮頸がん検査を受診しない傾向が見られました。一方で、日本人女性は「恥ずかしい」という理由が上位でした。

調査結果を公表したプレスリリースの全文はこちらから▶



Follow us!



子宮頸がんの原因のほとんどはヒトパピローマウイルス（HPV）の感染。

HPVワクチン接種と定期的な検診によって予防できます。

初期段階で発見することが、とても重要です！



子宮頸がんを知って、かしこく予防する

子宮頸がん検診（予防）に関する知識不足が最大の課題です。今後、HPV検査導入で精度が上がり検診間隔が延びて受診者の負担は軽減されていきます。若い世代からの正しい知識と検診習慣が重要です。学校教育に加え、大人への啓発も必要です。（産婦人科専門医 今野良先生）



ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社について

ロシュは、1896年にスイスのパーゼルで創業した、150以上の国や地域に拠点を持つ世界最大級のヘルスケアカンパニーです。ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社は、ロシュ診断薬事業部門の日本法人です。詳細は <http://www.roche-diagnostics.jp> をご覧ください。

この調査についてのお問い合わせ：ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社 tokyo.pr@roche.com

男性も必読！

ヒトパピローマウイルス

HPVワクチン、なぜ打つの？

誰もが感染する可能性

HPVは、人の皮膚や粘膜に感染するごくありふれたウイルスです。そのウイルスの型は400種類以上もあり、中でもがんの原因となるリスクが高いウイルスとして13種類の型が判明しています。国内でHPVが原因で発症するがんとして最も患者数が多いのが子宮頸がんですが、感染は男女を問わず起こります。男性も決して人ごとではありません。男性患者も多いHPV関連がんは、中咽頭がんや肛門がんがあります（女性患者も稀ではありません）

HPVは、人の皮膚や粘膜に感染するごくありふれたウイルスです。そのウイルスの型は400種類以上もあり、中でもがんの原因となるリスクが高いウイルスとして13種類の型が判明しています。国内でHPVが原因で発症するがんとして最も患者数が多いのが子宮頸がんですが、感染は男女を問わず起こります。男性も決して人ごとではありません。男性患者も多いHPV関連がんは、中咽頭がんや肛門がんがあります（女性患者も稀ではありません）

ん。がんではありませんが、尖圭コンジローマという病気を引き起こすHPVもあります。人との接触で感染するHPVは、時間をかけてがん化（▼P.6）します。そのため接触が起こる前の思春期からワクチンを接種したほうが感染予防には効果的です。年齢が若いほど、抗体価（ウイルス感染への抵抗力）が高くなるからです。男女ともにワクチンを打てば、自分自身はもちろん、将来のパートナーへの感染を防ぐことにもつながります。



世界、そして日本では…

HPVワクチンは世界保健機関（WHO）が接種を推奨しており、WHO加盟国194か国のうち137か国で国の予防接種プログラムに導入されています（2024年1月時点※1）。そのうち59か国においては、男性も接種対象となっています※2。日本では、HPVワクチンは小学6年生～高校1年生相当年齢の女性が定期予防接種の対象で、無料で接種できます。男性はあくまでも任意の接種対象です（2025年2月時点）。しかし、公費を助成している自治体もまだ多数派とは言えないながらも全国にあります。例えば東京都の21区と一部の市、群馬県桐生市、山形県南陽市、群馬県桐生市、三重県桑名市、熊本県高森町など。対象者は小学校6年生から高校1年生相当年齢の男性とする地域から、27歳以下の男性まで含む地域など、また助成金額も全額補助から一部補助などと、自治体によって助成内容に違いがあります。



監修
産婦人科専門医
今野良先生

こんの・りょう／自治医科大学付属さいたま医療センター産婦人科名誉教授。子宮頸がんを考える市民の会・理事長（▶P.14）。1988年から子宮頸がんのHPVの研究をはじめ、子宮頸がん検診とHPVワクチンの専門家として、国内外の共同研究に取り組む。

※1 厚生労働省「HPVワクチンについて知ってくだい」／あなたと関係のあるがんがあります／小学校6年生～高校1年生相当の女の子と保護者の方へ大切なお知らせ。リーフレット詳細版2025年2月改訂版より。
※2 国立感染症研究所「第24回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会 予防接種推進委員会2024（令和6年3月14日ヒトパピローマウイルスHPVワクチンファクトシート追補版）より」

LOVE49全国アクション 2025

厚生労働省後援

主催：特定非営利活動法人 子宮頸がんを考える市民の会
共催：公益社団法人 日本臨床細胞学会 細胞検査士会

企業・団体パートナー 順不同／敬称略

公益社団法人 日本臨床細胞学会 細胞検査士会
Laline JAPAN 株式会社
花王 株式会社
株式会社 小杉湯
株式会社 グラフィコ
一般社団法人 神奈川県臨床検査技師会
一般社団法人 京都府臨床検査技師会
一般社団法人 島根県臨床検査技師会
一般社団法人 香川県臨床検査技師会
一般社団法人 宮崎県臨床検査技師会
一般社団法人 長崎県臨床検査技師会
一般財団法人 日本健康管理協会
公益財団法人 長崎県健康事業団
公益財団法人 ちば県民保健予防財団
公益財団法人 兵庫県予防医学協会
公益財団法人 香川県予防医学協会
一般財団法人 広島県検診協会
社会医療法人友愛会 友愛医療センター
医療法人社団聖順会 ジュノ・ヴェスタクリニック八田
社会医療法人里仁会 興生総合病院
利根保健生活協同組合 利根中央病院
医療法人 IDAクリニック
株式会社 福山臨床検査センター
松波硝子工業 株式会社
ロシュ・ダイアグノスティックス 株式会社
日本ベクトン・ディッキンソン 株式会社
ホロジックジャパン 株式会社
原田産業 株式会社
女性からだ情報局
RYOZAN PARK

活動方針 ②つの柱

① 声を上げること！

毎年4月9日を「子宮頸がんを予防する日」として予防・啓発アクションを行っています



長野県では「愛は子宮を救う」イベントも開催

② システムを作ること！

声を上げるだけでは子宮頸がん検診の受診率上昇に限界があると、私たちは考えています



乳がん・子宮頸がん検診促進超党派議員連盟(会長 野田聖子)第1回全国大会の様子。国と地方を繋ぐイベントを開催しています。

会員募集中

ご支援いただくと——
●活動報告 ●冊子 ●オリジナルグッズ
●各種イベントセミナーへのご招待
などをお届けします！



LOVE49
寄付・賛同金募集

特定非営利活動法人 子宮頸がんを考える市民の会



新理事長ご挨拶

子宮頸がんのない社会へ、いま私たちができること

2024年度から本会の理事長を務める今野良です。私が子宮頸がんに向き合うきっかけは、40年前の研修医時代に出会った患者の皆様でした。放射線治療の有効性を実感する一方、体力がなく治療を受けられず亡くなった患者様もあり、婦人科がんを専門とし、検診の普及に取り組む決意をしました。

現在、子宮頸がんの原因がHPVと判明し、ワクチンや高感度HPV検査が導入されています。本来ならば重症の患者様が減るはずですが、日本では毎年3,000～4,000人が死亡し、1万人以上が新たに罹患しています。検診受診率は40%、ワクチン接種率も低

く、このままではWHOが提唱する2100年までの子宮頸がん征圧に日本は到達できません。

ほとんどの低・中所得国でも達成可能な目標にもかかわらず、日本だけが取り残される可能性があります。この現状を変え、子宮頸がんのない未来を実現することが、私たちの課題です。

特定非営利活動法人
子宮頸がんを考える市民の会
理事長
こんの りょう
今野良



ご挨拶全文は
こちらから



私たちは、子宮頸がん対策について市民目線で声を上げ、制度を変えていく啓発団体です。

当会は2004年に発足しました。その後、4月9日を「子宮頸がんを予防する日(子宮の日)」に記念日登録するなど、さまざまな活動を行ってきました。あまり知られていませんが、子宮頸がん検診は日本から始まりました。しかし現在の受診率は約40%、他の先進諸国の70%以上にはほど遠いのが実状です。そんな社会を変えていきたい！それが私たちの願いです。

子宮頸がんに関する
情報発信！毎年4月
発行のニュースレター

QL
QUARTER LIFE

子宮頸がんは20代から増え始め30代で発症のピークになる疾患です。人生100年時代、25歳はその1/4(クォーター)に当たります。その世代の方へ自分の身体について考えるキッカケになりたい、そんな想いで「クォーター・ライフ」を発行しています。